

第90回 東京岳陽会 総会・懇親会 2012.6.16



田川での岳陽同窓会PR (高32)

受付の皆さん (高33/34)



立石研一 田川高等学校校長

吉田正見 岳陽同窓会会長代行

巨大な垂れ幕 (金子浩さん・高33制作)



新旧交換



元応援団長進野貴良さん (高33) のエール



辻野名誉会長の乾杯の首領



矢野会長の挨拶



恩師秋満栄一先生



肥土礼二さんほか来年の当番幹事 (高34)

東京岳陽会報

題字は緒方浩元会長書

第 106 号

発行所

福岡県立田川中学・田川高校
東京岳陽会事務局
幹事長 石井利生

〒227-0036 神奈川県横浜市
青葉区奈良町2913-4-1113

☎ : 045-961-6193

Eメール :
tokyogakuyo@gmail.com

東京岳陽会ホームページ :
http://tokyogakuyo.net/

振替番号 00120-9-7948

発行人 濱田兼幸

編集人 知京豊裕

レイアウト・印刷 オーシャンコマース

会長就任のご挨拶

東京岳陽会会長 濱田 兼幸 (高校20回)



このたび矢野前会長のあとを受け、東京岳陽会の会長に就任いたしました高校20回、昭和24年生まれの濱田兼幸です。初代から数えて10代目となります。

代々引き継がれてきたセピア色の本会の歴史書を紐解いてみますと、東京岳陽会は大正12年8月に9名の大先輩がまさに「二八の春の意気高し、明日朝翔の翼並め、鵬我ら集いたり」と伊田の料亭に参集し、東京に同窓会を作ろうと決められたのが始まりです。ちなみに、この年の9月に関東大震災が起こり、日本が大きな災害にあった年でもありました。

その後、太平洋戦争の前後20年近くはその活動も制約をされましたが、創立から今日までの間、その想いは途絶えることなく、去る6月16日椿山荘にて90回記念総会を開催するまでになりました。中津原頭の旧制田川中学、田川高校の同じ学びの地から関東へ希望と夢を胸に巣立っていった若者達が連帯の糸を絶やすことなく営々と紡いで繋いできた組織(登録会員数1600余名)が東京岳陽会であり、その認識を新たに役員一同で共有し、会運営に当たらせていただきます。

幸いにも90回記念総会には270名を超える会員、ご来賓にご参加いただき、歴代当番期が目指してきた200名超えの総会・懇親会を2年連続達成することができました。10年後の東京岳陽会100回記念総会に向けて200名以上の参加者を絶やすことなく継続できるように役員一同、当番期の皆様、会員の皆様と協

力して総会/懇親会の企画に取り組んでまいります。

私の年代は団塊の世代といわれておりますが、それ以前の諸先輩方と、若い20回代、50回代、そして現役学生達との交流の場としての総会だけでなく、新年会(岳陽サロン)、東京下町散策、関連する行事の広報活動も含めて充実させてゆきます。特に、旅行作家山本鉦太郎さんにご案内いただく東京下町散策は歴史探訪だけでなく、家族でも参加していただける企画であり、運動不足解消、老若男女の交流の場でもあります。今年も面白いコース設定を用意しておりますので是非ご参加していただければとおもいます。また、昨年から始めたゴルフ会も今年は秋の親睦小旅行風の企画をしています。ゴルフをされない方でも、ご夫婦での1泊の温泉旅行として参加していただけるよう企画をしています。

現役学生にとっては逆境の世相となっておりますが、少しでも力になればと関東に就職を希望する学生と現役社会人同窓生との交流機会の検討など東京岳陽会の新たな試みなどを通じて、更なる発展、活性化に向けて邁進してまいります。

本会は卒業生による「ボランティア」を基本としており、最低限の活動原資は会員の皆様からの浄財による年会費で運営させて頂いております。現在のところ会員数に占める会費納付率が15%程度にとどまっていることは残念におもいます。今後の東京岳陽会の永続的な活動を維持するために、まずは納付率を20%近くまで改善できるよう広報活動の工夫と企画の充実而努力してまいります。

最後になりますが、多くの卒業生の想いが集まってできた東京岳陽会を大切にするとともに、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

総会を終えて

前会長挨拶

矢野 文朗 (高18回)



第90回の記念すべき東京岳陽会を田川に所縁のある山下洋輔さんとともに276名の参加者の皆様と祝うことが出来ました。山下様の集客力も凄いものでした。当番期を中心に近年の当番経験者がこの総会を自分たちの同窓会として再会を

東京岳陽会総会を終えて

当番幹事代表

金子 浩 (高33回)



この度は、90回のお祝いの総会に、200名を超える多くの同窓の先輩方と、若い世代の皆様にお集まり頂き、誠にありがとうございました。総会では多くのお元氣な先輩方とお会いすることができ、我々33回スタッフ一同これ以上の喜びはございません。心より感謝をし、楽しいひと時をご一緒させて頂きましたことに御礼申し上げます。懇親会では、甲子園と田川の懐かしい映像を放映いたしました。ご覧頂きましたでしょうか。その中でお流ししました「田川とつながる夢」と題した詩をお届けさせて頂き

喜び合う姿が参加者増加の大きな要因になっており、大変喜ばしいことと感じております。当番期の33回生が目標にしてきた参加者250名を超える総会となり、総会・懇親会を十分楽しんでいただけたことは会場からお帰りの際当番期の諸君に『いや〜ご苦労さん』『いい総会だったよ、お蔭で楽しかった』とお声をかけていただいていた様子から参加した皆様に喜んでいただけたことを感じました。33回生もこの一年頑張ってきた苦勞が報われたことと思います。本当にご苦労さんでした。

また、今年も来年の当番期の34回生が来年の前哨戦としてほぼ一年間33回生とともに会合に参加してくれました。準備や当日の状況を十分経験し来年の新年会や総会に役立ててくれるものと期待しております。90回の記念大会とはいえ276名の参加を記録したことは300名の

ます。今後ともご指導頂きますようお願い申し上げます。

夢

私たちに夢がある
ふると、田川と繋がる夢がある
もつとたくさんさんの笑顔と、もつとたくさんさんの明るさで、ふると、田川を元気にしよう
私たちが生み、育ててくれた、たくさんさんの仲間がいるふると、田川を元気にしよう
時には、辛く悲しい時もあるだろう
涙を流す時もあるだろう
心が傷つく時もあるだろう
そして、迷い苦しむ時もあるだろう
そんな時こそ、私たちが生まれ育ったふるさと、田川で、新緑にゆれる風の声を感ぜよう
川の流れと鳥のささやきに耳をすませよう
神幸祭とボタ山を、じっと眺めていよ

参加者も夢ではなくなってきました。今年度の総会を区切りさらに100回へとスタートを切りましたので300名超えを目標にさらに発展していってほしいと思います。

今年の総会での役員任期満了で会長職を20回生の濱田兼幸さんに引き継ぎましたので、東京岳陽会をさらに発展させていってほしいと思います。また彼を中心に役員のかたがたが協力し合って更なる発展を求めていってほしいと思います。

最後に会長職降板に当たり会員の皆様の年会費納入実績が2割以下の現状を今年度から2割5分の実績となるようこの会報をご覧の皆様のご協力を切にお願いして挨拶に代えさせて頂きます。この3年間のご指導・ご鞭撻に感謝いたします。本当に協力いただきましてありがとうございます。

う 豊かで、そしてのどかな田園を感じてみよう

夢

私たちに夢がある
素直な自分に戻れるはずさ
私たちが育ててくれたふると、田川に感謝し、そして誇りに思う
私たちに仲間がいる
支えあい、はげましあう、仲間がいる
助け合い、譲り合う仲間がいる
手を取り、言葉をかけあう仲間がいる
私たちが生み、そして育ててくれた故郷よ、ありがとう
私たちの心のふると、田川よ、ありがとう
私たちに心を共に出来る、頼もしい同士よ、ありがとう
美しい、そして私たちの誇りである日本よ、ありがとう
私たちに夢がある
ふるさと、田川と繋がる夢がある
生かされた命に感謝をし、私たちは今日、この日を忘れない、
ありがとう田川

当番幹事を終えて 33回生座談会

参加者：金子浩君、大野純一君、櫻井茂美さん、見藤弘一(編集)
金：皆さん、総会・懇親会お疲れ様でした！みんな大変やったやろ？でもいい会やったよね！
大：いやいや、金子君が「一ちゃん大変やったよろ？総会一週間前とか仕事しよらんやたらとやないん？」
金：会社にバレたら間違いなくブチ回されるつちや！(笑)一応、朝はちゃんと出社するんばい。でもちょっとしたら「お客様の所へ打合せに行つてきまーす」ち言うちからたい、椿山荘で打合せしよつたもんね(笑)。そげなん見藤君も同罪やないん？
大：中に参加者名簿作りよつたやろ？
見：自宅のパソコンが壊れて使えんき会社のパソコンで仕事中に作りよつたばい(笑)。会社にバレたら始末書もんたい。いっつも背中にとーちち変な汗かきながら参加者名簿作りよつたばい(笑)。
大：今年90回の記念総会やったきプレッシャーやったたいね。

櫻：しかも椿山荘。
見：しかもジャズピアノリストの山下洋輔さんをお呼びするとか言うてからくさ。
金：そやき会費は一万円にせなつたらんつち。
櫻：人集めな赤字になるつち。
大：おおごたい。どげんもこげんもならんち。むちゃつくちやばい(笑)。
見：去年89回が206名で新記録やろ？今年最低でも250名集めなけんち最初からプレッシャーかけるさね、もうすか〜ん。
金：いろいろ大変やつたけど、いい懇親会になったやないん？
櫻：276名参加！少し黒字！
一同：うそ〜！黒になったんかい？
櫻：ご祝儀もだいたいもらつたんよ！一同：へ〜。
大：なんちかんち言うつたち、山下さんのピアノ演奏が良かったばい。「展覧会の絵」とか「炭坑節」とか山下さんにかかったらもう立派すぎるジャズたいね。
金：演奏時間もびつたり45分間やつたしね！
見：うそやん！5分長つたばい。
金：あれはカツチリ時間通りに終わつたんやけど、舞台のソデで見よつたオレに5分延ばしていいか？つちわざわき聞いてくれて最後に「ボレロ」を弾いたんよ。アンコールのつもりで。
見：粋やね〜山下さん。舞台裏で山下さんのお話をさせてもらつたけど、すごい謙虚で紳士なんばい。
櫻：田川健児の歌に合わせて応援マーチ？した進野君(高33)も

良かったばい。
大：32年前の甲子園を思い出したばい。
金：そういや甲子園の映像は、よう手に入つたたいね。
見：津島君(高33)が野球部やったやろ？彼から手に入れたんたい。わざわざ田川から応援にも来てくれてからくさ。来年は田川岳陽の当番幹事やろ？手伝わなつたらんばい。
一同：わかちよ〜わかちよ〜。
大：いろいろ準備に大変やつたけんが、懇親会終わって先輩たちから「今年は良かった」とか「今日はおもしろかった」とか「33回はすごいね〜」とか褒めていただけて涙が出そうになったばい。
櫻：終わつてから「良かったよ」つちご祝儀もいただいたばい。
金：懇親会準備はホントに苦勞したけど、苦勞のし甲斐があつたんかね。
一同：あつた、あつた！
金：そげん喜んでいただけるんなら、また幹事やろかね？
一同：一生に一回でいいばい！(笑)



各位

この度、本校奨学会に寄付金をご納入いただき誠に有難うございました。

この浄財は会の趣旨、目的にそって田川高等学校教育目標達成の為の貴重な財源として使わせていただきたく存じます。

今後とも田川高等学校教育のためのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

書面にて失礼とは存じますがお礼のことばといたします。

先日の東京岳陽会総会の折には、多額の寄付金をお託けいただき、ありがとうございました。八田会長・校長を通じて確かに届けていただきました。

平成24年6月18日

福岡県立田川高等学校

奨学会長 八田 彰

岳陽同窓会副会長 吉田 正見

PTA会長 黒岩 敬

校長 立石 研一

領収書

平成24年6月18日

東京岳陽会様

¥ 174,949

但し平成24年度田川高校奨学会寄付金として上記金額確かに領収致しました。

福岡県田川郡香春町大字中津原 2055-1 福岡県立田川高等学校内 TEL 0947-44-1131

福岡県立田川高等学校奨学会会長 八田 彰

東京岳陽会 平成23年度事業報告

平成24年6月16日

Table with 2 columns: Item number and description. Items include: 1. 総会・懇親会, 2. 岳陽サロン, 3. 散策・ハイキング, 4. 東京岳陽会報の発行, 5. 名簿の整理, 6. 学年委員会の開催, 7. 田川地区活性化, 8. 講演会, 9. 役員会の開催, 10. 他校の同窓会等, 11. その他.

東京岳陽会 平成24年度事業計画

平成24年6月16日

Table with 2 columns: Item number and description. Items include: 1. 総会・懇親会, 2. 岳陽サロン, 3. 散策・ハイキング, 4. 東京岳陽会報の発行, 5. 名簿の整理, 6. 学年委員会の開催, 7. 田川地区活性化, 8. 講演会, 9. 役員会の開催, 10. 他校の同窓会等, 11. その他.

第90回 東京岳陽会総会・懇親会 参加者名簿

平成24年6月16日

Large table listing participants for the 90th Tokyo Goryo-kai General Meeting and Reunion. Columns include: Name (Old Name), Position, Graduation Year, School (Middle/Junior High), and Name (New Name). The table is organized into four main sections based on school names: 香春中, 香春中, 香春中, and 香春中.

東京岳陽会 平成23年度収支報告・監査報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部

Table with 3 columns: 費目, 金額, 摘要. Includes items like 前期繰越金, 年会費, 総会会費等.

支出の部

Table with 3 columns: 費目, 金額, 摘要. Includes items like 総会費, 会報費, 会議費, 通信費.

平成24年3月31日現在残高 ¥1,254,039.-

上記の通り、適正に処理したものと認めます。

平成24年6月4日

会計監査 西田道生



会計監査 鍛冶義延



東京岳陽会 平成24年度収支計画

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部

Table with 3 columns: 費目, 金額, 摘要. Includes items like 前期繰越金, 年会費, 総会会費等.

支出の部

Table with 3 columns: 費目, 金額, 摘要. Includes items like 総会費, 会報費, 会議費, 通信費.

予備費 50,000

支出合計 4,160,000

次期繰越金 1,055,039

第90回 東京岳陽会 総会・懇親会 式次第

日時: 平成24年6月16日 (土) 12時～15時00分
場所: 椿山荘5階オリエント

第一部 総会 (12:00～12:20)

司会: 当番幹事 小田浩明 (高33回)
副会長 大石幹和 (高21回)

- 1. 開会の辞
2. 校歌斉唱
3. 物故者追悼
4. 会長挨拶
5. 来賓紹介

田川高等学校校長 岳陽同窓会名誉会長 立石 研一
副会長 福山祐子 (高24回)
元会長代 吉田 正見
副会長 平野 健
副会長 小川 貴子
恩師 成瀬 秋満
恩師 英一
会長 八田 彰
副会長 橋下 博
顧問 泉谷 良一
前会長 土師 勲
副会長 井上 直樹
事務局 掛橋 幸隆
副会長 掛橋 幸隆
幹事長 結城 謙吾
副会長 木村紀美子

- 6. 来賓挨拶
田川高等学校校長 (岳陽同窓会名誉会長) 立石研一様
岳陽同窓会 (会長代行) 吉田正見様
7. 議事
(1) 議長選出 会長 矢野文朗 (高18回)
(2) 平成23年事業報告 (案) 幹事長 石井利生 (高29回)
(3) 平成23年収支報告 (案) 及び監査報告 (案)
幹事長 石井利生 (高29回)
会計監査 鍛冶義延 (高20回)
(4) 平成24年度事業計画及び収支計画 (案)
幹事長 石井利生 (高29回)
会長 矢野文朗 (高18回)
(5) 役員改選 (案)
東京岳陽会副会長 濱田直治 (高19回)

第二部 特別講演 (12:25～13:10)

司会: 当番幹事 奴賀祐子 (高33回)
山下洋輔氏による講演&演奏

山下洋輔氏 Profile
・日本を代表するジャズピアニスト
・1942年2月26日 東京・渋谷に生まれる。
・少年時代 (小3から中1) を田川の後藤寺で過ごした後、東京に戻り、麻布中学から麻布高校へと進み、国立音楽大を卒業。
・中学時代からジャズに魅せられ、高校時代にはジャズバンドを結成し演奏活動を開始、日本にフリージャズの世界を広めた。
・山下氏はジャズピアニストとしてだけでなく作曲家、エッセイスト、作家としても、多彩な活動を続けている。



第三部 懇親会 (13:10～15:00)

司会: 当番幹事 中村聡磯 (高33回)

- 1. 開会の辞
2. 祝 吟
3. 乾杯
4. 懇談
5. 万歳三唱
6. 閉会の辞

東京岳陽会・新役員平成24年度

Table with 5 columns: 役員, 担当業務, 年次, 氏名, 出身中. Lists new officers for the 24th year.

欠席者のハガキより

Table with 3 columns: 氏名, 年齢, 欠席理由. Lists members who were absent and their reasons.

Table with 3 columns: 氏名, 年齢, 欠席理由. Lists members who were absent and their reasons.

新役員紹介

会計監査

江田 孝 (高19回)



総務

沖胡 一明 (高29回)



します。これからも捜してみます。最後になりますが、最近参加者が増え、盛んになってきた総会をはじめとする東京岳陽会の盛り上がりが続いていくようお役に立てればと思います。よろしくお願ひいたします。

す。幹事長の石井君とは同期になります。最近、転勤で東京の同期が増えました。総務の仕事は、工数がかかりますので、29回生の皆さまは、幹事長を助けるためにもご協力をお願いいたします。
※1 20年以上前のことなので正確ではないと思います。

奥 忠宏 (高31回、広報)
丸山 留美 (高31回、広報)
大塚 隆弘 (高32回、組織)

山下洋輔さんに絵画を贈呈



この絵画は炭坑節のふる里として有名な田川の地にそびえ立つ日本煙突と堅坑槽を関西岳陽会の泉谷様が描いたものです。今回の東京岳陽会総会での講演と演奏へのお礼として山下洋輔様へ贈呈しました。

郷土への自信と誇りを持てる貴重な時期を 田川高校で過ごしてもらうために

福岡県議会議員

神崎 聡 (高33回)



地方再生の礎は人です。高い志をもち、郷土に限りない愛着を感じる人材をつくるのが大切です。しかし、現実には多くの課題を田川地区は抱えています。福岡県ではいま中高一貫校の設置を進めています。現在、県内では、中高一貫校が3校設置されています。それを来年度には、県内4ブロックの中から、未だ設置されていない福岡・筑豊両地区にそれぞれ一校程度設置する予定です。

田川地域では、通学圏内ということで、育徳館中学校への入学者がかなり多いです。今年の田川地区からの入学者は26名であり、育徳館中・高等学校の6年間で約130名の田川の子供たちがこの学校に通っております。ご存知の通り、育徳館は、中高一貫校として、見事に高い進学の成果を挙げました。学校の取り組みは無論のことですが、やはり子供たちの頑張りがあつたからであり、田川地域から学力を含めて伸びる可能性を持った子供たちがこの学校に入学したことも、進学に大きく貢献しているのだと考えます。これに加え、仮に、筑豊地区の別の場所に中高一貫校が設置されると、ますます田川の子供たちが他の地域へと進学していきます。現時点では嘉穂高校が有力視されております。嘉穂高校は平成23年度からスーパーサイエンスハイスクールにも指定されるなど実績のある高校と

東京岳陽会川柳道場

○ 沢庵は味好みより歯の具合 徳富 巖 (中26回)

○ 硬山は俺の青春月見草 五郎丸 直 (高1回)

○ 硬山も豎鉦もなし祭り笛 前橋 弘子 (高4回)

○ 幻の硬山に向き風揚ぐる 矢野 茂樹 (高12回)

○ 医者はしごこれも元気のバロメータ 尾田 洋二 (高14回)

○ 俺田川!! 世界遺産だ参ったか!! 辻野 吉勝 (高14回)

○ 病院と兼代だけで年金パー (奥様のぼやき) 瓜生 鐵二 (高14回)

○ レディー・ガガ、復興支援、キスマーク 宮崎 勝 (高17回)

○ 原爆に地震・津波に火事・竜巻き 中島 誠一郎 (高30回)

○ おじいさん、酒はほどほど孫が言う 手嶋 敏和 (高30回)

○ 帰宅して、シユッポツと開けたら娘の電話 岳南健児

○ 飲み会で、遅くなるので、迎えに来て! 中島 誠一郎 (高30回)

○ 開けたビール、かみさん、一人で一気飲み

○ シンボルの削り止まりて、香春岳

なっています。これにより予想される問題は、田川地区に進学校を失うことで発生する地元公立中学校の学力低下です。加えて、中・高時代の時期を他地域で過ごすために、子供たちの田川への郷土愛が希薄になる問題も発生してきます。これは田川地域と田川高校の将来に影響を与える大きな問題になると考えています。そこで、対策として、私は現在、県立普通科高等学校を県内13学区に分割した中学区制を導入していることを受けて、13学区ごとに中高一貫校を設置すべきと要望しています。現実をみますと、育徳館中学に通うために、早朝から列車にのって通学する田川の子供たちを見かけます。親御さんも子供たちを駅まで車で早朝に送るなどの苦勞をなさっているのではないかと察します。13学区に中高一貫校をつくることでこうした通学の問題はある程度解消されます。なにより、自分が生まれ育った地域で中学から高校まで教育を受けることで、郷土の歴史・文化・風土にも関心をもち、郷土愛を育てることができるといふ重要な人材育成の側面があります。故郷で川渡り神幸祭や地域行事を経験した子供たちの熱い理想が、地域の将来を担っていきます。地元で子供たちを育てる重要性は極めて高く、最も多感な中学・高校の青春時代を田川で過ごすことは、郷土に対して自信と誇りを持つ貴重な時期になります。田川高校が厳しい現実の中で、進学校としての役割を担っていき、社会に、水平線上に突起をつくり続ける人材を送り出すためには、ここで何らかの対策を打たないと手遅れになる気がしてなりません。「あのとき、この大きな課題に気づき、対策を打ったことが現在の繁栄につながった。」と後世にいわれるような施策を目指してまいります。是非、東京岳陽会、岳陽同窓会の皆様のご理解と力強いバックアップをお願いする次第です。

本年度より会計監査の役に就くことになりました高19回江田です。定年退職後、仕事は控えめに続けていますが、最近、時間ができて田川に帰ることが多くなりました。田川に帰ると気になるのがふるさとの景色。やはり、香春岳を初めとする山々の景色にはいつも癒されています。遠くから見たり、麓まで行って真下から見上げたり、いまだに新しい発見があるものです。
ところで、田川を代表する三つの山、香春岳、福智山、英彦山、これらが同時に見える場所をご存じですか。香春岳と福智山は結構一緒に見ることが出来ます。これに加えて英彦山を見ようと振り返っても、視界を遮られて英彦山はなかなか見ることが出来ない。
数年前から帰るたびに捜しました。そして苦節？数年、今年やっと見つけました。それも意外にも自分の出身の町、川崎町のある場所でした。具体的には言えません。秘密にしておきます。豊饒豊かな歴史のある山々ですから同時に三つ見えるこの場所はチョツとしたパワースポットです。まだ他にもありそうな気が

「沖胡君ですか？田川高校の同級生の村上やけど、覚えちよるかい」
※1
21年前、職場にかかってきたこの電話が、東京岳陽会との出会い、田川高校との再会の始まりでした。最初、怪しい勧誘の電話かと思いましたが、卒業15年目の同窓会副当番幹事の話と聞き、懐かしさもあり、打ち合わせに参加する事を承諾しました。それから20年、当番幹事も経験し同期との交流も深まってきました。
今回、縁あって役員(総務)を務めさせていただくこととなりましたが、私が体験してきたこの良き仕組みを維持、発展させ、郷里を離れた卒業生の皆さまに、「東京岳陽会がいつちゃんいいね」と言っていただけるように頑張りたいと思います。
私は川崎中学の出身、今は品川で電気メーカーのエンジニアとして働いています。高校時代は卓球部に所属していましたが、今は、週末にテニスを楽しんでいます。子供は2人、妻は1人、29回卒業、当年、54歳で

一町一家。古き良き「川崎のころ」が、新しき良き「川崎の出会い」を創る



高島(村坂)昌美 (高42回)

山本作兵衛の炭坑画がユネスコ世界記憶遺産に登録されるなど、かつて日本経済を支えた炭坑文化がいま注目を集め、田川市石炭・歴史博物館を中心に新たな観光客が進められています。その中で川崎町でも、室町時代に画僧雪舟が築庭した国指定名勝庭園「魚楽園」、彼岸花の群生地として多くの写真愛好者への認知度が高まっている「安宅小峠地区の棚田」、春は菜の花・夏はひまわり・秋はコスモスなど四季折々の景観が楽しめる「な・ひ・こ・畑」など、魅力的なスポットが多くあり、福岡・北



安宅の棚田と彼岸花(手前)(写真提供:同)



魚楽園(写真提供:川崎町)

九州市圏からの来訪者も多く、広く周知され始めています。

また、古くから農業や果樹の歴史もあるのが町ですが、自然農法や合鴨農法で育ったお米、巨峰・梨・りんご・いちごやそれらを使った加工品が好評です。農産物直売所「De・愛」、農園レストラン「ラビエタファーム」などの、町内で生産・収穫した米や野菜の販売や、取れたての食材を使った旬の料理を提供するスポットも人気があり、町外からも多くの来店客が訪れています。さらに、6月に行われた(一社)川崎町観光協会設立イベント「かわさきパン博」では5000人のパン愛好者が押し寄せ、1時間足らずで10000個のパンが完売しました。大盛況を収めた「パン博」は川崎町の初夏のイベントとして定着しそうです。

中小の炭鉱が50ほど存在した川崎町は、筑豊炭田を象徴する町とされており、炭坑節を世に広めた昭和の大歌手

ふるさと田川の振興を



岳陽同窓会副会長 小川 貴子 (高31回)

私は、現在田川市商工観光課長として田川の観光PRや商業振興などに取り組んでいます。

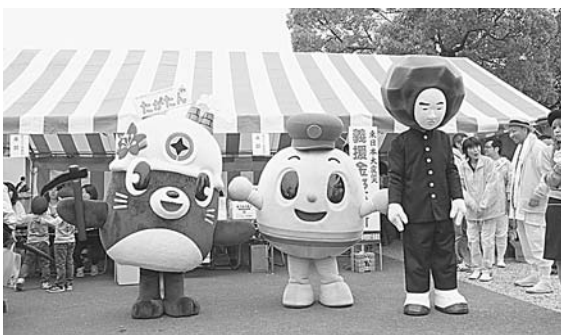
本市は、今まで観光分野について立ち遅れていましたが、昨年5月の山本作兵衛氏の炭坑記録画等の世界記憶遺産登録を機に俄然注目を集めました。連日大型バスで観光客が訪れ、平成22年度に2万6,241人だった来館者数が平成23年度には14万9,798人と飛躍的に増加しました。しかしながら、市内には宿泊施設も食事場所やお土産販売所も十分とは言えません。そこで、田川郡を考えてみますと、

「赤坂小梅」姐生誕の日でもあり、今年に没後20年の年にあたります。町内にはかつて栄えた映画館跡、病院跡、共同浴場跡も残されており、これらのスポットをガイドと巡るツアーなども企画しています。

今年5月1日には、(一社)川崎町観光協会が設立され、「一町一家」をスローガンに、町民の皆さんと共にまちのことを知り、観光客と交流しながら魅力的なまちをつくっていきたくと頑張っています。賛助会員、サポーター会員等募集しています。

英彦山や上野焼、魚楽園、道の駅、温泉とそれぞれに魅力的な名所や施設が揃っています。今年の4月には市郡の自営体、商工会などがすべて加盟した「田川広域観光協会」が設立され、今後は、田川地区の魅力を盛り込んだ観光コースの提案や情報の発信に力を入れて取り組んでいきます。9月2日(日)には日暮里駅前広場にて、田川地区のPRイベントを行

■連絡先 (一社)川崎町観光協会 〒827-0004 田川郡川崎町田原787-1、tel・fax: 0947-73-3838 Mail: info@kanko-kawasaki.net、HP: http://kanko-kawasaki.net



左から、たがたん、ちくまるくん、石田川炭夫

いますので、ぜひ足をお運び下さい。さて、本市では、石炭・歴史博物館があり、二本煙突や堅坑槽が残る石炭記念公園を、石炭や炭坑文化を象徴する場所として整備していく方針です。ピジター機能を有する世界記憶遺産センターの建設や隣接する伊田斜坑の復元や整備を行い、田川地域の炭坑文化遺産や観光施設への観光、あるいは修学旅行や体験学習などの拠点とする予定です。

また、現在、「山本作兵衛コレクション」全国産炭地キャラバン展」を開催中です。これは釧路市立博物館を皮切りに、夕張市石炭博物館、いわき市石炭化石館、宇部市石炭記念館、西彼杉炭田で順次レプリカ展を開催するものです。そして、来年2月には東京国立博物館で原画展とシンポジウムを開催しますので、ぜひ皆様にご来場いただきたいと思ひます。最後に、各地でゆるキャラがブームとなつていますが、田川市でも公募で作った「たがたん」と田川市出身のお笑い芸人バカリズムさんがデザインした「石田川炭夫」というキャラクターが人気を集めています。ふるさと田川のPRとともにこうしたキャラクターも可愛がっていただきますようお願いいたします。

郷土の財(たから)をめぐる最近のお話



福岡県教育庁総務部 総務課企画広報監 高田 裕康 (高30回)

ふるさと田川では、山本作兵衛氏の炭坑記録画等が国内初の世界記憶遺産に登録されたことを契機として、この価値をさらに広く周知することや、作品を生み出した田川エリアの文化、歴史、自然を併せてPRし、魅力を発信する取組が続々展開されています。田川市によると、山本作兵衛氏の作品

を通して産炭地域が日本の近代化を支えた歴史を再認識してほしいとの意図から、今年6月から秋頃まで全国キャラバンを北海道、福島、山口、長崎において開催する予定、年明けには東京国立博物館での原画展開催を目指すとのこと

また、本年度から田川エリアの広域的な地域振興を目的として田川広域連携プロジェクトが始まっています。石炭産業に代表される近代化遺産の数々や、400年の歴史を持つ上野焼などの伝統工芸、神幸祭等の民俗文化財、いにしえからの歴史を今に伝える香春岳等、地域の豊富な資源を活かして、魅力あるイメージでたくさんの方が訪れる地域、将来を担う人材を育てる活性化していく地域、を指す取り組みです。多くの市民の皆さんへの参加が呼びかけられていますが、同窓会の皆様にもご協力をお願いいたします。インターネット情報サイト「たがたん」では地域発の旬の話題が閲覧可能で、田川エリアを訪れる方の便利なツールとして活用されています。

ところで、世界遺産の話題ですが、福岡県では平成21年度から、2つの世界遺産登録を目指しています。1つは、20世紀初頭にかけて我が国は近代工業化により西洋に肩を並べる飛躍的な発展を遂げましたが、その特筆すべき過程を示す「九州・山口の近代化産業遺産群」です。更にもう1つが、4世紀後半から9世紀末の宗像沖ノ島の古代祭祀に神に捧げられた約8万点に及ぶ国宝をはじめとする「宗像・沖ノ島と関連遺産群」、これらはユネスコの世界遺産暫定リストに既に記載されました。登録に向けた取り組みにより福岡県が今後も益々元氣な地域になればと願っています。

それから、九州国立博物館ではこの春、特別展「平山郁夫〜シルクロードの軌跡〜人類の遺産にかけた画家の人生」が開催され、12万人もの多くの来館者で賑わいました。この夏休みシーズンは、特別展「美のワンダーランド〜十五人の京絵師」が開催中で、若冲や応挙といった著名画家が描いた近世絵画が九州初上陸します。こちらも楽しみます。

さて、最後に田川エリアが誇る文化遺産の話題をもう一つ。日本三大修験霊場の一つである英彦山の最も古い文書「彦山流記」では、彦山49窟のことが詳しく述べられており、世界遺産アジヤンター石窟、敦煌莫高窟、雲岡石窟などシルクロードを通じて伝わった宗教文化の跡が、ここに見られます。また別の古文書「鎮西彦山縁起」に、531年に中国北魏の僧善正が英彦山に仏教を伝え、後にその弟子となる、彦山修験の第二祖忍辱上人の記述があります。これは韓国の檀君神話とも関連があるとのことですが、日田藤山村御師であった恒雄(上人)が射止めた鹿が、彦山権現の化身である三羽の鷹から、くちばしで矢を抜かれ、羽で傷をぬぐわれ、検査で水を飲まされると、蘇生します。上人はこれを見られて仏教の殺生戒を悟ったというものです。「蒼鷹はるか夢に飛ぶ、奇霊の日子の精受けて」と校歌に詠われているのは、この伝説に由来があるのでしょうか。英彦山系には、希少生物クマタカが今も生息しているとのこと、こうしたすばらしい自然もまた、後世に守り伝えたい大切な遺産です。



伊田坑二本煙突と香春岳

わがまま娘 げいちゃん(迎珍)

近藤 公久 (高32回)



【上海料理@横浜】

高32回生がしよる店。店長の山下君は田川中学出身。田川高校時代に体操部で鍛えた体を生かして日本の防衛に貢献後、上海、北京、杭州、蘇州での修行を経て、現在のお店をオープン。この間に外国語学部出身ながら司法試験に挑戦するなど、経験も様々で話題も豊富。美味しい料理と気さくなフロアスタッフで楽しいひとときを演出。そして何より、店長とは、田川弁で懐かしいあの頃がよみがえる。人気メニューは、絹さやニンク塩炒め、キュウリのみもみ、中華定番の餃子、焼売、炒飯も格別。

32回生一押しは「麻婆豆腐」

http://www.7b.biglobe.ne.jp/~geichinn4649/
tel: 045-320-0233

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2丁目22-1



第90回東京学陽会総会後の32回生二次会風景

腐」。暑いこの時期のおすめは、手羽先のぶつ切り揚げ、ニラ玉炒め、空心菜(こんしんつあい)場所・横浜駅から徒歩5分的好立地の店は50人の宴会が可能なロジ風の広々とした席。家族でもよし、仕事帰り、出張のりに一人で寄つてもよし。一風変わったお店の名の由来は謎。

喜寿の祝いも兼ねた総会後の同期会を英彦山で開催し二十六名が参加した。昨年は田川市で傘寿を祝う会に十四名が出席、八十歳という年齢を感じさせない、また、高校時代を彷彿させる元気のある傘寿を祝った。八十八歳の米寿まで二年毎の総会を開催することをここで決議した。幹事となった浮田寺、金山玄浄君は「幹事は死ねない、大変だ。複雑な気持ちです」との便りがあつた。来年の総会が楽しみで待ち遠しい。

傘寿の突起会 元気澆刺

水貝 利重 (高2回)



太平洋戦争の末期、昭和19年に入学した高校2回生の兵種は突起会。六年間、水平線に突起を作れと激励され、岳陽会で鍛えられた。教室は陸軍病院の病舎として接収され、講堂で合同授業、農繁期になれば農村に勤労奉仕、教科書なども不足し、軍事教練が日課であった。昭和二十年、二年生の夏に終戦を迎えた。世間は疲弊し、極度の食料不足で空腹に悩まされたが、陸上部の同級生が全国中学校駅伝大会で大活躍し、初出場にして優勝を果たして帰校した。このニュースに炭鉱の街は歓喜に沸いた。

水泳部も負けじと同期の末広敏正君が背泳、私が平泳で高校日本記録で優勝した。その後、私はバタフライに転向して日米対抗、全日本選手権で活躍できた。進学も田川高校からは早稲田の12名を筆頭に、五十余名が大学に進学、県下でも優秀者と評価され、運動部の活躍とともに校史に輝く足跡を残した代であった。

卒業後、五十年目の記念総会を福岡市で開催し、それに百十数名が出席、母校

訪問やゴルフ大会などで五十年目の再開を楽しんだ。

私も日本マスターズ水泳大会でバタフライと個人メドレー優勝し、金メダルの数が七十個を超えた。今後より精進練習して更なる健闘を誓っている。石炭産業で繁栄した炭鉱の街で育ち、田川高校で教育・指導を受けた幸運に感謝し母校の活躍と岳陽会が今後も更に盛大に発展することを願っている。

来年の岳陽会総会で東大から慶応に進学した同期の秀才、平野健君の万歳三唱が今から楽しみである。

高22回還暦旅行に 参加して

松田 礼司 (高22回)



桜も終わるころ、22回生(卯辰会)は岳陽同窓会本番時に約束した60歳の還



暦記念旅行を琵琶湖、有馬で行った。4月21日、13時半、新大阪駅集合、福岡組は新幹線で集団移動、さぞやほかの乗客の迷惑となったことと思われる。東は東京以北からも3年間の思い出の結びを繕おうと、あの頃の面影を一つでも思い出し西へと向かった。

大阪で合流した一団は、2台の豪華バスに分乗し、一路三井寺へ。バスの中にはいつしか田川に、ガイドさんも沈黙が一番のサービスと気づいたようだ。

バスが停まった三井寺は雨上がり、一時間余り散策しながら、これからの新しい友達づくりに励んだ。

最初の宿は琵琶湖GH。全員が何かの担当を任せられ、高校時代の再現であった。

次の朝、深夜の宴会による寝不足を意地と化粧で隠しつつ、一日のみの参加者に見送られ2台のバスで出発。清水寺、平安神宮、金閣寺、仁和寺を見学後馬場GHへ。宴会の締めくくりは、やはり炭坑節。音が流れればささやかな振りもだ

岳陽サロン 2012

新年会報告

大野 純一 (高33回)

平成24年1月28日、東京岳陽会新年会が、ふくおか会館にて、盛大にとり行われ、2012年の新年にふさわしい懇親会となりました。今年度は、我々高校33回生が、幹事として皆様のお世話をさせて頂きました。既にご承知の通り、6月に実施される、記念すべき第90回の東京岳陽会総会をひかえ、当番期の我々も、その予行練習のつもりで取り組みました。

たことは、前回32回の先輩方の丁寧な一連の作業資料を引き継いでいたお陰だと強く思いました。式次第のデザイン等は、殆どが前回の先輩方のパクリです(笑)。幾つになっても、先輩とは、ありがたいものです。と同時に、我々33回生の、田川高校同期生としての意識も高まった気がします。

新年会の案内を兼ねた年賀状の印刷、発送から始まり、出欠の確認、出席者名簿の作成、会計、料理・会場の手配、当日の進行、式次第の準備等々、慣れない事ばかりでしたが33回生の参加メンバーが、各自役割分担をして、自分たちの仕事の合間に、少しずつ準備を進めてまいりました。(会社での仕事そっちのけで、堂々と岳陽会の作業をしている人も、多々いたようですが)当日は、多くの先輩方とお会いでき、故郷田川の色々な昔話に花も咲き、とても楽しい一時を共に過ごす事ができ、6月開催の総会に向けて弾みがついたように思います。



んだん様になる田川人。二日目の夜となると歳には勝てず早めのお開きで明日に備える。最終日は北野異人館、平清盛ドラマ館などをめぐり、新神戸で15時半に解散。延べ60名、内女

性21名。旅行のコンセプトは「新しい友達づくりで絆の再構築」。今回は65歳、70歳「また会おう」の合言葉で二泊三日の修学旅行は5年後に続く。福岡の実行委員さんありがとう。

きょうは高校19回平石久廣先生を訪問しました。平石先輩は現在、明治大学理工学部建築学科教授で後進の育成に尽力されているだけでなく、国土交通省国土技術政策総合研究所建築構造基準委員会委員長代理、日本建築学会災害委員会委員長を務める傍ら、建築の安全に関する国の基準や学会の基準づくりに関係なさるなど、多方面で活躍しておられます。今日は明治大学生田校舎に平石先輩の研究室を訪ね、田川時代、大学時代を過ごした九大での出来事、就職してからの体験などをお聞きすると同時に、昨年の東日本大地震に対する思いなどを伺いました。

筑豊篇・田川時代

知京：今日は忙しいなかお時間をいただきまして、ありがとうございます。先生は田川市のお生まれだと伺いましたが。

平石：ええ、今でも田川市の夏吉に実家があります。小学校当時の田川は人口が増加していた時期で、学校には生徒が溢れて、近くの市役所の一部を借りて授業をしていたような状態でした。

知京：その頃、土門拳の写真集「筑豊の子どもたち」が出ていますね。映画もあつたとか。

平石：その映画の小学校のシーンは僕が通っていた市役所支所の仮校舎を使って撮影されました。

知京：そうでしたか。一度、見てみたい映画なのですが、なかなかそのチャンスがなくて。高校時代はどうですか？

平石：実家から高校まで1年生の時には汽車で、高校2、3年はバイクで通学しました。当時はあちこちに黒いボタ山が残っていましたね。今は、ボタ山に草や木が生えてしまつて当時の面影はほとんどありません。

知京：汽車というのが時代を感じます。高校時代はなにかスポーツや部活などやっておられたのでしょうか？

平石：いえ、高校時代はもっぱら勉強と遊びでした。

知京：印象に残っている先生はどうでしょう？

平石：国語の瓜生先生と英語の名木先生は印象に残っていますね。

福岡編・九大時代

知京：九大の建築学科に進学されたわけですが、福岡での生活はどうでしたか？

平石：大学ではアイスホッケー部に入り、練習をしていました。

知京：高校時代と違って、楽しい大学生活のスタートですね。

平石：ところが、それからしばらくして大変な事件が大学で起こりました。1968年に米軍のファントム戦闘機が、建設中だった九大大型電算機センターに墜落するという事件です。

知京：そのニュース、覚えています。

平石：それから、もうアイスホッケーどころじゃない、もっと重要なことがあるという想いにつかれ、連日、デモに参加していました。

知京：1968年だと、ちょうど学生運動が盛んだった時期ですね。その後、大学院に進まれたのですか？

平石：同期の大半は4年の卒業と同時に就職して上京して行きました。その頃、僕にはどうも、社会に対する不信感があつて、修士課程、さらに博士課程と大学院に残つてしまいました。

先輩訪問

山霊懲りて人となり②

**明治大学理工学部教授
平石 久廣 (高校19回)**

インタビュー 知京 豊裕 (高校30回)

でいました。知京：平石先輩の知り合いが僕の職場にいて、その縁で先生を知ったのですが、彼女から、お子さんの名前が信介だと伺いました。

平石：子供が産まれたら、男の子なら信介、女の子なら織江にしようと思つていました(笑)。家内は織江は悲しい運命だからやめて、と言つていたので、幸い、男の子が産まれたので、信介となりました。もう社会人になっています。

上京編・建築研究所時代

平石：1977年に九大から学位を頂き、一度、九州共立

大学へ奉職し、1978年から当時の建設省建築研究所に来ました。最初は新宿区に研究所があつて、その翌年、つくばに移転しました。知京：研究所ではどのような研究をなさつていたのでしょうか？

平石：建築研究所時代には大きく分けて2つの仕事に関係していました。建築のラーメン構造は御存知ですか？

知京：知り合いに理工学部建築学科の先輩がいて、ラーメン構造の概要を聞いたことがあります。

平石：ラーメン構造はビル建設などで、柱と梁の接点が強く固定され、変形しにくい接合になつている構造のことです。このラーメン構造による鉄筋コンクリート(RC)造は中高層の事務所建築などに広く使われています。それとは別に集合住宅では居住空間の間仕切りなどを耐力壁として有効に活用した中低層の壁式構造が主流です。この2つの構造の利点を活かし併せて、集合住宅の高層化技術のプロジェクトを企画、開発しました。本構造は現在我が国の高層集合住宅の代

表的な構造形式となつていきます。その後、鉄筋コンクリート構造の超高層化技術(New RC)の研究プロジェクトを企画、開発しました。このNew RCプロジェクトは建築業界に大きなインパクトを与え、プロジェクトの終了をまたず、この技術を使った超高層建築物の建設が始まりました。現在首都圏だけでも、新しい超高層マンションが沢山建つていますが、これからのほぼ全てがこのNew RC技術で建てられています。世界に冠たる日本の建築技術だと自負しています。知京：それはすごいですね。日本は地震が多いですから、十分な耐性をもつ高層建築は重要ですね。

平石：現在、豊洲の超高層に住んでいるのですが、こもNew RC技術で造



られたものです。自分の開発した技術でできた超高層マンションに住むのも縁だろつとおもひ、購入しました。実は、この話を、高層ビルに恐怖をいだいていた家内にしたところ、涙ながらに怖いからやめて、と反対されたのですが、でも、都心の夜景を楽しめる事や、銀座などでショッピングに便利な場所であることなど、家内のほうが超高層マンションでの生活を楽しんでるようです。

知京：エンジニア冥利に尽きますね。平石：いまでは、東京湾岸をはじめ都心に林立していますが、New RC開発当時を思いだすと感無量です。というのも、コンクリート強度を現行強度の3倍にして60階建ての超高層マンションを可能にする建築学会の研究協議会で発表

した時には会場から大きな失笑が起きました。そんなことは無理だと当時は思われていたのです。実は僕も少々不安でしたが。知京：そうするとこの基準は当時の常識をはるかに超えていたのですか？

平石：そうですね。最終的には4倍のコンクリート強度をもつコンクリートで、500m級の超高層建築も可能にする事を目指しました。知京：果敢な挑戦ですね。

平石：でも、結果的にはこれがよくて、現在、目標とした強度を更に上回るコンクリートが開発され、また、海外では超高層とも言うる建物が建設されています。

知京：夢を現実にしたのでですね。水平線上に超高層建築の突起ができましたね(笑)。まさに田川健児。

東日本大震災について

知京：建築に携わつてこられた平石さんからみて、昨年の東日本大震災はどのように写つたのでしょうか？

平石：津波の光景をテレビでみましたが、いろんな想いがわきました。今回の震災では、日本建築学会災害委員会委員長として、災害調査の指揮と取りまとめを行い、学会の東日本大震災調査復興支援本部の副本部長として復興支援にあつていますが、防災にかかわる者として責任も感じています。実際に被災地にも入りました。

知京：被災地ではどのような調査をしたのでしょうか？

平石：僕自身は主に鉄筋コンクリート建築物の被害の調査を行いました。被害の概要を申しますと、1981年以前の旧基準で造られた鉄筋コンクリート建築物は公共建築も含めて大きな被害を受けていました。しかし、1981年以降に建てられた建物は現行の高い安全性を要求した建築基準のためにほとんど被害はな

く、高層建物については大きな被害は皆無と言えます。知京：そうすると新しい高層建物は地震でも津波でもしっかり建つていっているのですか？

平石：超高層建築ですが、これは2000年以前と以後で地震動に対する揺れが違います。新超高層ビル群のような2000年以前のものは大きく揺れますが、2000年以降の基準で造られた超高層建築はさほど揺れません。概して最近の超高層建物は極めて安全性が高いと言えます。

知京：それで東京湾岸にはあんなに沢山の超高層建築が建つていのですか。納得です。

平石：安心して超高層建築に住んでください。知京：最後に田川時代、建築についての想いなど、お聞かせいただけますか？

平石：建築は人の営みをはぐむ造形物ですから人ととのつながりがとても大切だと思つています。僕の研究生活を振り返りますと、いろいろな人との出会いがありました。New RCの研究の時代には鋼材倶楽部の方々ともお付き合いをさせて頂きました。こうした人々との出会いが今の自分の大きな財産になっています。

知京：今日は非常に有益なお話をお聞きしたおもひです。また、高い目標設定が重要なことも再認識しました。またお会いしたいとおもいます。その時にはお酒も一緒に飲みたい。長い時間、お付き合いをいただき、ありがとうございます。

平石：そのときは、楽しいお酒をぜひ、飲みに行きましょう。

感想

平石先輩が現在の超高層建築の基礎技術と基準をつくつたことがわかり、大変感銘を受けたインタビューでした。建築の世界でリーダーシップを発揮するだけでなく、ご息の名前を信介にするなど、田川への熱い思いも感じることができました。お酒好きなのも、田川健児の特徴。建築の世界で水平線に突起を作つた先輩でした。

再会の喜び、湧き上がる勇氣

岳陽同窓会会長

山本 一男 (高7回)



昨年12月22日 岳陽同窓会 会長 山本一男氏が逝去されました。我々にとって、山本先生は物理の教師として、物理部の顧問として、あるいは田川高校校長として多くの同窓生が関係してきた恩師でした。この文は昨年、東京岳陽会のために寄稿していただいたもので、先生の想いの伝わる内容です。先生を偲ぶついでに、(こ)紹介したいと思います。

毎年参加してきた東京岳陽同窓会も89回を迎えることになった。誠に喜ばしいことです。来年は記念すべき90周年記念の同窓会が予定されています。私事ですが、一昨年から予期せぬ癌と闘病中です。友人や家族からは無理をせずに体を休めよう勧められましたが、卒業生に逢つて勇気を貰う方を選択しました。今年は今までになく卒業以来初めてだとか、久方振りの卒業生や先輩の方々に再会でき多くの勇気をいただきました。今回の東京岳陽同窓会は200名以上の参加者を迎え誠に盛会でした。今まで伝統を作つて下さった先輩の方々の行き方を大切にしながら若い卒業生が多数集うことが出来たのも喜ばしいことです。前夜祭で歓迎下さった関東在住の方々、開会行事前に当日参加できないという友人も宿舎に多数来て下さり激励と勇気を頂きました。当日講師の加藤教行さんや福岡から参加した同窓生が訴えていたように、田川

は少子高齢化の影響を強く受けています。田川高校もかつては一個学年が480名も在籍し、全校生徒も1200名を超え教職員も100名近く居ました。昭和40年代に基幹産業が撤退し、地元で支えていた中小の町工場も技術者や労働者が転出し、地元に残った農林業や商業関係者も仕事を得られず後継者を育てることができなくなつて人口減少が続いています。

田川高校の生徒も今では一個学年が6学級240名、全校生徒も750名を切っています。地元中学の卒業生15歳人口も近年240名位が田川地区外に流出しています。先日地元的首長会にも参加し田川地区の県立高等学校の実態を紹介し、田川高等学校も学校を挙げて頑張っており、国立大学や有名私立大学にも合格者を出していることを伝え、井浦校長も地元中学校を回り、首長会で訴えた内容を踏まえ、地元田川の活性化の為に地元の子供は地元で育てる覚悟をもつて教職員共々頑張っていることを説明し広報に努めています。

また、今年田川高等学校岳陽同窓会も役員等の改選期に当たり優秀な若い会長を始めとする役員への若返りを行い、これを機会に女性会員も半数近くにになりましたので、副会長に女性の役員を設け更なる活性化を図り母校田川高等学校の活性化にも繋ぐことが出来れば幸いですと思つています。

岳陽同窓会では学校と提携し、通学生徒の便を図る為にも平成筑豊鉄道「勾金駅」の命名権購入で活性化の一翼を担えればと思つています。今年の8月1日発行の「岳陽会報」で総会への案内と併せ勾金駅命名権購入への募金も郵便局の口座番号を記載して協力をお願いしています。趣旨ご理解の上ご応募下さるようお願い致します。今年の岳陽同窓会当日は「田川伊田」駅から「田川高校前勾金」駅までの無料乗車券を配布し参加者への便を図りたいと思つています。遠方からの参加会員も活用して下さい。事前に乗車券が多数確保できれば車両増設も依頼することが出来ます。東京岳陽会での挨拶が時間制限で2分

以内ということも田川の実態等を十分に伝えることが出来ませんでしたので、矢野会長様の挨拶状に倣つて紙上の挨拶とします。東京岳陽会の益々の発展を願うと共に、激励下さつた方々に改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

田川高校、NHK杯全国高校放送コンテスト 第59回全国大会に出場

NHK杯全国高校放送コンテスト第59回全国大会に田川高校三年生の大津留涼美さんが地方予選を通過して、全国大会に参加しました。コンテストが行なわれた7月24日の夜、神楽坂のイタリアンレストランZOOで東京岳陽会主催の夕食会が開かれました。会には濱田会長や引率の尾野来奈先生も参加され、田川弁が飛び出す楽しい夕食となりました。大津留さんが参加したのは「アナウンス部門」ですが、読み上げる内容は自分で作成します。その内容に感銘をうけました。田川高校の伝統がいまでも母校に息づいているのを感じさせる内容でしたので、(こ)紹介したいと思います。



参加者は左から濱田会長、福山さん、大津留さん、尾野先生、手前は知京に吉門さん

田川高校3年 大津留 涼美

本校の校章は星の形をしています。しかし、これは単なる星の形ではありません。「水平線上に突起を作れ」という校訓の象徴なのです。星の五つの突起は、儒教の思想である



応援メッセージの書かれたジェラートプレート

川柳 いました。カーナビに また教えてる と孫が言う(10年前のカーナビでバイパスやトンネル等は記録がないので、カーナビのガイドに従わないことが多い)

五常「仁、義、礼、智、信」を意味します。仁は思いやりの心、義は正しい道、礼は礼儀、智は知恵、信は嘘をつかないことです。この五つの精神を身につけ、将来それぞれの分野で活躍して欲しいという思いを形にしたものです。卒業生でもある大谷先生は、「高校時代、五常の意味を知って、私は自分に正直であろうと心がけました。今でも五常を意識して教壇に立っています」と話してくださいました。制服の胸に輝く五常の星は、田川高生を照らし、将来へと導く一番星です。残念ながら、大津留さんは翌日の準決勝には進めませんでした。来年は尾野先生のご指導のもと、大津留さんの後輩が後をついてくれるとおもいます。これからも応援をしていきたいと思つています。

九州筑豊ラーメン 山小屋 早稲田店

田川で育った人にとって身近な味は「九州筑豊ラーメン山小屋」ではないでしょうか。高校のあった香春で生まれたこのラーメン店は福岡だけでなく、九州一円に店舗を拡大し、最近では首都圏でも見かけるようになりました。都内は三店舗があり、そのひとつは明治通りと早稲田通りの交差点付近にあります。店内には懐かしい田川の言葉と香があり、田川の味と雰囲気を楽しむことができます。

また、清澄白河店はテレビドラマ「専業主婦探偵ー私はシャドウー」でも使われました。田川が恋しくなったら、ちよつと足を伸ばしてみたい方が多いでしょう。

九州筑豊ラーメン山小屋早稲田店 東京都新宿区高田馬場1-3-13 tel: 03-3202-7659

田川健児のこれコレ!!

丸山 留美 (高31回)

関東に住んで食べられないものの中がめめ葉餅があります。端午の節句の頃、店頭で柏餅が並んでいると故郷のがめめ葉餅の野趣あふれる姿、独特な芳香を思い出し、無性に食べたくなるのは私だけでしょうか？福岡のアンテナショップでも取り扱ってないそうです。がめめ葉餅はサルトリイバラの葉で山の下腹部の日当たりのよい斜面に絡み合いながら生えていて、茎に棘があるので葉を取るのは大変です。西日本では柏が少ないので柏の葉の代わりにがめめ葉が用いられたとのことですが、がめめ葉の方が柏の葉に比べ地方名が多く、がめめ葉餅の方が柏餅より古くからあるのかもしれない。サルトリイバラは九州から北海道まで分布しているそうなので関東の山で探し、がめめ葉餅をぜひ作ってみたいと思つています。

がめめの葉餅

- ① ボウルにもち米粉、塩を入れて水を少しずつ入れながら耳たぶの固さによくこねる。
- ② 手に片栗粉をつけて①を適当な大きさにちぎり平らに広げあんを入れ丸める。
- ③ 餅がくっつかないように葉にサラダ油を薄く塗る。
- ④ がめめの葉にはさんで30分蒸す。

☆写真提供：ふたせ饅頭本舗 福岡県飯塚市伊岐須295-13 (http://www.futamam.com)

*材料
・もち米粉 …500g
・塩 …ひとつまみ
・あん …適量
・片栗粉 …適量
・サラダ油 …適量
・がめめの葉 …適量



物故者

井本 憲祐 様	徳永 終七郎 様	河野 幸雄 様	木村 隆 様	加東 将隆 様	道城 国広 様	政枝 寛一 様	椿本 和幸 様	岡本 照英 様	掛水 一正 様	山内 眞福 様
中8回	中20回	中22回	中23回	中25回	高4回	高16回	高18回	高24回	定4回	定4回

第2回 東京岳陽会 ゴルフコンペのご案内

高28回 渡部 雅人

東京岳陽会会員 各位

第二回東京岳陽会ゴルフコンペを今年も企画いたしましたので、ぜひ、ご同期、ご友人、ご家族お誘い合せの上、ご参加ください！
東京岳陽会会員以外の方のご参加も大歓迎です！



記

場所：ラフォーレ修善寺
日時：9月15日(土) 練習ラウンド&宿泊(宴会あり)
9月16日(日) 岳陽会コンペ 9:00スタート
※16日の当日参加も可能！

問い合わせ先：高31回 長尾圭一
Mail : k-1.iinagao@docomo.ne.jp
Tel : 090-4515-2170)

第二回東京岳陽会ゴルフ大会

第一回東京岳陽会ゴルフ大会を昨年9月23日(日曜日)に栃木東雲GCで開催した。前日の22日(土曜日)にクラブハウスに一泊し、天然温泉を楽しみ、夕食は飲み放題で高校時代の思い出や田川訃りが飛び交い、楽しい前夜祭となった。大会成績は次のとおり。

- 優勝… 川野直樹 (高校24回)
 - 二位… 大屋博義 (高校31回)
 - 三位… 長尾圭一 (高校31回)
 - 四位… 中原和彦 (高校28回)
 - 五位… 田中秀二 (高校28回)
 - 六位… 水貝利重 (高校2回)
 - 七位… 渡部雅人 (高校28回)
 - 八位… 上野 潤 (高校31回)
- 田川から参加した中原和彦氏がベストグロス。福山祐子さんが記念撮影などサポートして大会を盛り上げました。これを機会に、毎年9月に東京岳陽会ゴルフ大会を開催することとなりました。競技方式はインペリア方式で初心者でもプレーが楽しめます。
今年の開催は9月16日(日)に伊豆高



原GCで開催します。これとは別に、今年の4月15日(日)、梅が満開の福島県白川高原GCで「水貝杯」を7名が参加して開催しました。結果は
優勝… 中野 寛 (高校14回)
二位… 上野 潤 (高校31回)
三位… 長尾圭一 (高校31回)
となりました。

残暑お見舞い申し上げます。

佐々木 大刀夫 (中13回)
緒方 宏 (中23回)
山内 茂 (中24回)
古川 温 (高3回)
松岡 健次 (高8回)
辻野 吉勝 (高14回)
椿 誠 (高16回)
矢野 文朗 (高18回)
大石 幹和 (高21回)
萩尾 正昭 (定4回)

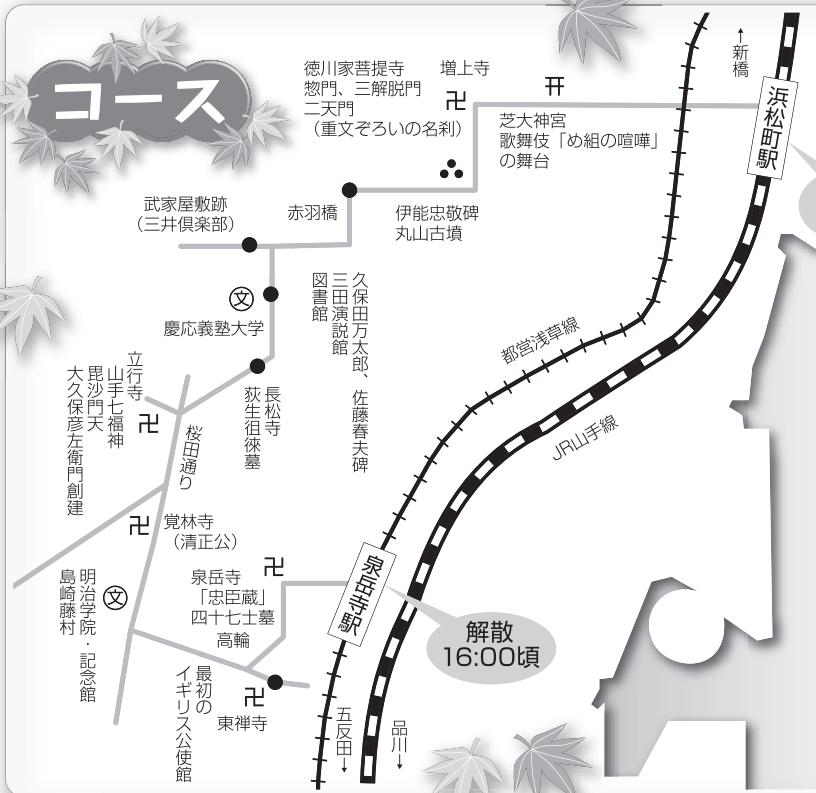
編集後記

山本先生には個人的にも高校の物理の恩師で、大学時代に教育実習の指導教官としてご縁がありました。先生は昨年末に急逝され、今回の記事が遺稿となってしまいました。先生が東京岳陽会に残してくれた想いのこもった文章を読むと、先生の姿が目に浮かんできます。(T・I生)

賛助者

成富 哲雄 (中16回)	加来 浩二 (中23回)	山内 茂 (中24回)	木村 義弘 (中25回)	西部 博之 (中28回)	廣末 敏正 (中29回)	裏地 康宏 (高2回)	水上 昭和 (高4回)	田中 新太郎 (高5回)	牟田 郁男 (高7回)	岡部 正彦 (高8回)	是恒 克憲 (高8回)	神崎 満治郎 (高8回)	松井 章容 (高10回)	匿名希望 (高11回)	早坂 万里子 (高12回)	永井 九州雄 (高12回)	松江 誠信 (高12回)	有吉 博恵 (高12回)	村松 早苗 (高12回)	崎野 信義 (高13回)	横山 知玄 (高14回)	中園 繁克 (高14回)	八尋 昭徳 (高14回)	辻野 吉勝 (高14回)	小林 昭夫 (高14回)	熊谷 忠輝 (高16回)	椿 誠 (高16回)	坂本 ありえ (高17回)	平手 高志 (高18回)	世良 守行 (高19回)	江田 孝一 (高19回)	井上 周一 (高19回)	村上 佳子 (高20回)	村岡 義延 (高20回)	鍛冶 要 (高21回)	木村 幹和 (高21回)	大石 敬子 (高21回)	伊藤 敬一 (高23回)	松尾 利彦 (高24回)	波多江 敬一 (高26回)	二神 俊和 (高28回)	田中 秀二 (高28回)	徳一 博之 (高29回)	石井 利生 (高30回)	知京 豊裕 (高33回)	山口 久美 (高33回)	下村 郁夫 (高40回)	堀江 武英 (高46回)	萩尾 正昭 (定4回)
--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------	---------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

コース



〈日 時〉 平成24年10月6日(土)
午前9時00分集合
〈集合場所〉 JR浜松町駅北口改札前
〈講師〉 山本鉦太郎氏 (日本旅のペンクラブ会長)
〈参加費〉 無料

参加応募
9月24日までに担当大石(高21回)へ
電話、FAX(042-236-7286)で
参加者数、名前、卒業期をお知らせ下さい。

ルート
JR浜松町駅→芝大神宮→増上寺→丸山古墳→
三井倶楽部→長松寺→立行寺→覚林寺→明治
学院記念館→東禅寺→泉岳寺→都営泉岳寺駅

下町散策 芝・高輪界限

東京岳陽会主催 (第十回)